本庄早稲田塾が開講

その２
■ 新任管理監督者研修

また、6 月 15 日(水) と 22 日(水) に開催した「新任管理監督者研修」では、新たに管理職などになられた３７名が参加、やる気に満ちた職場作りの方法、リーダーシップやコミュニケーションのスキルアップなどについて熱心に学んでいました。

■ 今後の研修会予定　～ぜひご活用ください～

幹部候補育成研修 （7 月 27，28 日）	企業の中核を担う中堅社員のモチベーションとチャレンジ精神をさらに向上させると同時に、経営指標の基礎知識を学びます。先を見据え、自らの考えで行動できる視野の広いリーダーを育成します。
労務管理研修 （10 月 5 日）	労務管理に必要な知識・法令等を理解し、企業が取るべき戦略的労務対策について学びます。「労務管理上の問題点や就業規則の工夫例」「退職や解雇の基礎知識」についての事例や「労働基準法」「育児・介護休業法」の法改正ポイントを解説します。
管理監督者強化研修 （11 月 22，29 日）	会社を変革させるために必要となる実践的スキルを学びます。激変する経営環境の中でも的確なビジョンや方向性を示し、積極的に経営改革を図るマネジメント能力を強化します。
財務管理研修 （12 月 6，7 日）	決算書の数値の善し悪しを見極める財務分析の手法を学びます。黒字倒産や連鎖倒産などの経営危機を乗り越える手法を習得し、経営体質の改善に役立ちます。
販売促進研修 （2012 年 2 月 21 日）	新規開拓に必要な営業スキル、態度・行動などを事例演習やロールプレイを通して学びます。セールス力の向上や能力・資質に磨きをかけ、新規販路開拓に役立ちます。

いずれも　会場：早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター
　　受講料：1 日あたり 5,000 円（テキスト代を含む）
※詳細は財団 HP、若しくは当財団までお問い合わせください。

● インキュベーションマネージャー紹介

インキュベーションマネージャーとして工藤元が着任しました。
これまでの豊富な経験やネットワークを活かし、起業・新規事業化支援、新事業創出・経営革新等の支援やコーディネートなど、起業を考えている方のみならず地域の企業の皆様のお手伝いをしてまいります。前任の久重同様よろしくお願いいたします。

introduction　《自己紹介》

インキュベーションマネージャー
工藤　元

２０１１年４月より、インキュベーション・オン・キャンパス本庄早稲田のインキュベーションマネージャーに着任しました工藤元と申します。これまで、大手アパレルメーカーでの国内・海外での実務経験を経て、自ら起業しベンチャー企業を経営してまいりました。また、早稲田大学インキュベーションセンターにおけるインキュベーションマネージャーとしてのベンチャー企業支援等の経験も積んでおります。こうした経験と培ってきた人脈・ネットワークを生かし、ベンチャー企業支援はもちろん、本庄早稲田地域の企業間連携の推進や新規事業の立案、さらに、本庄早稲田地域の企業向けセミナー等の企画運営を行うことで、産学公連携の推進と地域経済の活発化に寄与したいと考えております。力不足の点もあるかとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

HONJO WASEDA RESEARCH PARK FOUNDATION　財団法人 本庄国際リサーチパーク研究推進機構
〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011
TEL: 0495-24-7455 FAX: 0495-24-7465
http://www.howarp.or.jp/
無断転載を禁じます

HONJO-WASEDA RESEARCH PARK NEWS 2011.vol 1.HOWARP

本庄早稲田・リサーチパークニュース　2011.7

新理事長　橋本 周司

◎新理事長ごあいさつ

北関東の産学官連携拠点を目指して

早稲田大学が“都の西北”、本庄の地に地歩を築いて半世紀

2002 年、早稲田大学、埼玉県、本庄市および周辺町村等の協力のもと財団法人本庄国際リサーチパーク研究推進機構が設立されました。

かねてより早稲田大学本庄キャンパスでは、「産・学・公・地域」の連携により地域に開かれた新たな研究・教育拠点の形成を目指す「早稲田リサーチパーク」の整備が進められてきました。本財団は、この早稲田リサーチパークを中心とした次世代型地域づくりのモデル都市構想を志向しつつ、新産業・新技術の創出等による地域産業の振興や企業・住民のまちづくり活動への支援などを通じて地域の発展に寄与することを自らのミッション・使命とし、創設の地本庄での第一歩を踏み出したのであります。

上記の活動の拠点として、2003 年には、「インキュベーション･オン･キャンパス本庄早稲田」が開設され、2004 年には「早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター」も整備されました。ここでの具体的な活動としては、早稲田大学を中心とし、他大学、研究機関、企業との産学連携共同研究、地域企業や起業家を対象としたインキュベーション活動、早稲田大学等との連携による地域の企業や市民を対象とした各種セミナーやシンポジウムの開催など幅広い活動を行ってきております。

一方、新幹線本庄早稲田駅北側の本庄早稲田駅周辺土地区画整備事業は、着実に整備が進み、昨年 2010 年 10 月にまちびらきのセレモニー「本庄早稲田の杜まちびらき」が行われ、2014 年 3 月の整備計画終了を目指して新しいまちが形成されつつあります。このような状況の中で、2011 年 5 月 17 日に、自然エネルギーを有効活用した新たなまちづくりとして「本庄スマートエネルギータウンプロジェクト」を立ち上げました。早稲田大学、自治体、企業等と協働し、次世代住宅や商業施設、交通システムなどを総合的に取り入れた地方版スマートシティの形成に向け活動を行っていく所存です。

本財団が推進する早稲田リサーチパークづくりの取り組みも新しいステージへと進みつつあります。今後とも、皆様方の多大なるご指導、ご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

HONJO WASEDA RESEARCH PARK FOUNDATION　財団法人 本庄国際リサーチパーク研究推進機構
〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011
TEL: 0495-24-7455 FAX: 0495-24-7465
http://www.howarp.or.jp/
無断転載を禁じます

本庄スマートエネルギータウン プロジェクト発足

最先端スマートタウンを実現する「本庄スマートエネルギ-タウンプロジェクト」始まる

５月17日に早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターで、本庄早稲田駅周辺のエリアを対象に自然エネルギーを活用した先進的なまちづくりを推進する、本庄スマートエネルギータウンプロジェクトの発足会を開催いたしました。

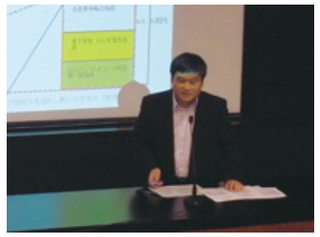
当日は、招待者、関係者を含め約150人が参加者し、初めに本財団橋本周司理事長より「東日本大震災後の国づくりの起点となるようなプロジェクトを目指す」と挨拶を行いました。また、来賓を代表して吉田信解本庄市長は「環境に配慮したまちづくりを本庄から起こし、全国、世界に発信してほしい」と地元自治体としての期待を述べられました。

〈橋本理事長〉

〈永田教授〉

〈吉田本庄市長〉

〈小野田准教授、嶋根専務理事〉



〈高橋課長〉

本財団嶋根繁専務理事からプロジェクトの構想を説明後、プロジェクト統括の早稲田大学環境総合研究センター小野田弘士准教授から、プロジェクトの体制や今後の事業計画を説明し、企業側からはプロジェクトへの期待と意欲的な取り組みが披露されました。

後援機関の関東経済産業局資源エネルギー環境部エネルギー対策課　高橋一夫課長より「スマートグリッドからスマートコミュニティへ」と題してご講演を頂きました。また高橋課長は「プロジェクト推進によって地域産業の振興と、成功モデルの創出を期待しており今後も支援したい」と述べられました。講演終了後、レストラン馬車道において懇親会が開催され、参加者の活発な意見交換があり盛会のうちに発足会の全てのプログラムを終えました。

◎本庄スマートエネルギータウン　プロジェクトとは

本プロジェクトの構想は、「拠点整備法」指定による本庄早稲田駅周辺土地区画整備事業を契機に、本庄市が進めてきた「本庄早稲田の杜構想」等の成果が起点となっています。このような「まちづくり」の具体化が期待されるなか、昨年５月に埼玉経済同友会が県および市に提言した「本庄エコタウン構想」を受けて、本財団は同年10月17日に「本庄スマートエネルギータウンフォーラム」を開催し、「本庄スマートエネルギータウンコンソーシアム」研究会を立ち上げ、その後プロジェクトの準備会を設立し検討を進めてきました。

本プロジェクト運営体制は、本財団が事務局となり、早稲田大学研究者、企業会員32社（7月11日現在）で構成されています。また実施にあたっては、関東経済産業局ならびに埼玉県、本庄市などの行政機関からの支援を受けています。

今年度より、次世代スマートシティのコンセプト策定と並行して、地中熱ヒートポンプや一人乗り電気自動車の共有インフラを活用した次世代住宅の建設や、大規模商業施設での電気や熱エネルギーの有効活用についての実証を進めます。さらに来年度より、次世代交通システムやバイオマスエネルギーのプロジェクトを展開し、2013年までに、実証実験で得た成果を実際のまちづくりに応用する予定です。

次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会

～次世代自動車産業展2011に出展～

研究会のブース

６月15日（水）から17日（金）にかけて東京ビッグサイトで開催された次世代自動車産業展２０１１（主催：日刊工業新聞社）に次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会が出展しました。

会員からは(株）秋山製作所、(株）フィアロコーポレーション、ＰＬＡＭＯ（株）の３社がブース出展を、(有）小築鍍金工業所、(株）久保田鐵工所、東京千曲産業(株)、ＤＯＷＡハイテック(株)、野口精機（株）の５社がパネル展示を行い、自社の製品や技術力などを来場者に紹介しました。

また、会場周辺で行った電動バス（ＷＥＢ３）の試乗会には多くの方に乗車いただき人気を博しました。

会場ではスマートグリッド展2011も同時に開催され３日間で約44,800人と多数の来場者があり、マスコミからも取材依頼があるなど研究会や会員企業をＰＲできるよい機会となりました。

〈会場周辺での試乗会〉

本庄早稲田塾が開講

その１
■ 早稲田若手経営者ビジネススクール

今年度本財団は、「企業経営者・管理者研修」、「中堅社員・専門研修」及び「早稲田若手経営者ビジネススクール」の３つの研修を「本庄早稲田塾」として位置づけ、地域企業の人材育成をトータルに支援しています。

「早稲田若手経営者ビジネススクール」は塾長である早稲田大学商学学術院の鵜飼信一教授が監修した実践的なカリキュラムと今活躍中の若手経営者による現場に密着した講義が特色です。４月15日（金）に開講式を早稲田大学本部キャンパスで開催、５月27日（金）から大宮ソニックシティで講義（2012年２月まで計８回）がスタートしました。本講座の対象は、若手中小企業経営者、事業継承者、経営幹部候補者など、埼玉県内を中心に募集をいたしました。参加者はそれぞれの問題意識や経営課題に則した実践的な研究テーマに取り組む他、各回のゲスト講師を囲んでのグループディスカッションに意欲的に取り組んでいます。

地域の医療と健康を考える会(GHWの会)
平成23年度第１回　5月7日(土)開催！

“他人の力を借りていいんだよ～縁生を活かす地域コミュニケーション”

「地域の医療と健康を考える会 (GHW の会)」は、群馬大学医学部関係者 (G)、本庄地域住民 (H)、早稲田大学関係者 (W) が協力して、地域の医療と健康を考える団体です。年に5回程、地域の医療や健康に関する先駆的な活動を紹介する講演会を開催し、地域の医療についての理解を深める活動をしています。メンバーに群馬大学医学生や早稲田大学大学院生を加えることにより、将来、地域を担う人材を育成することも目的としています。早稲田大学加納貞彦教授と群馬大学医学部酒巻哲夫教授を相談役に、本庄市民の方が事務局として運営しています。

今年度から、本財団もこの活動を支援することになり、共催という立場から運営に携わり、多くの市民に地域医療についての学びの場を提供しています。

■ 5/7　第１回　講演会

第1回は、岐阜県高山市の大下大圓先生にご講演をいただきました。大下先生は、飛騨千光寺の住職の傍ら、大学で緩和ケアの講師として、また、地元の病院でボランティアとして活躍されています。当日は、早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターに 80 名を超える参加者が集まりました。講演内容は、病院のボランティア体験を通じての死生感、在宅ケアやスピリチュアルケアの重要性についてで、講演終了後、グループに分かれて講演を聞いての感想や自分の体験など意見交換を行い、終末医療の重要性について考えました。

■ 7/3　第２回　講演会

第2回は、奈良県立医科大学客員教授で岡本内科こどもクリニック院長の岡本新悟先生にご講演をいただきました。内容は東日本大震災被災地の希少病患者へのホルモン薬の補給活動の報告、また、その活動に携わった早稲田大学の学生ボランティアの体験発表でした。参加者は災害時の医療体制について考え、また問題意識を共有することができました。

岡本内科こどもクリニック院長　岡本新悟先生

次回、第３回の講演会のご案内

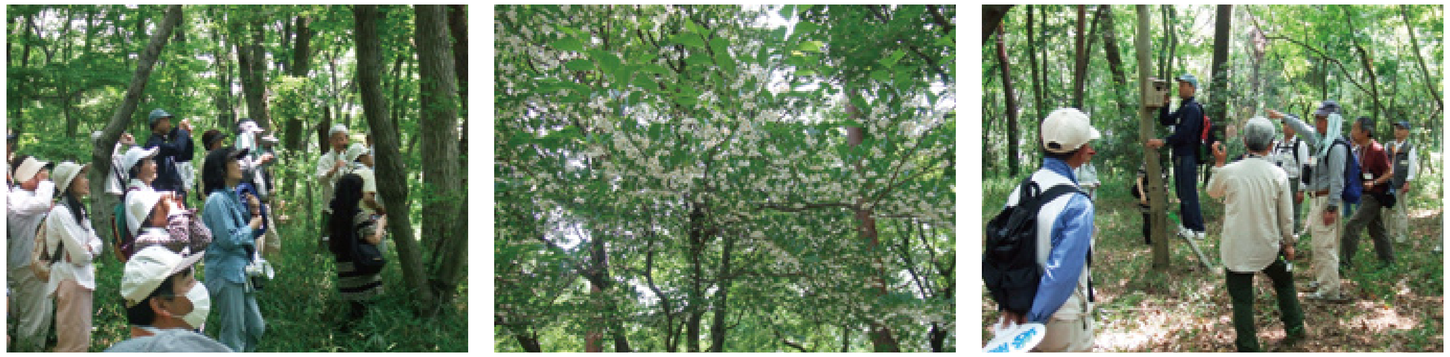
次回の講演会を以下の通り行います。地域医療にご興味のある方、いっしょに地域医療について考えたい方のご参加をお待ちしております。

・日時　９月４日 (日）午後２時より
・場所　早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター
・講師　国保町立小鹿野中央病院　病院長　関口哲夫 氏
・演題　「私たちの地域医療～地域包括医療ケア～」
※お問い合わせは当財団　地域連携支援部　担当者まで

本庄早稲田の杜　里山塾2011

今年度も恒例の「里山塾」が始まりました。全８回の開催で、現在登録者は 43 名です。大堀先生（早稲田大学自然環境調査室）と荒川当財団事務局長の大久保山の自然や歴史の講義の他、実際に大久保山を散策したり、グループに分かれての作業やグループワーキングを行うので、はじめは知らない者同士の皆さんも交流が深まり、和気あいあいの中受講しています。

また、昨年度から、「里山ボランティア」を募集し、20 名程の方が活動しています。今年は赤城山のサンデンフォレストを散策したり、キャンパス内のサツマイモ畑の手入れや植樹した周りの草刈をしています。里山の循環を肌で感じ、自分達で考え、行動していくボランティア集団に近づいております。これからも随時、里山ボランティアを募集していきますので、気軽に当財団事務局まで、お声かけください。



2011 年５月 21 日 (土)　里山塾　大久保山散策の様子

国際交流　仁手小学校訪問

2011 年６月 21 日に早大大学院留学生２名が本庄市仁手小学校を訪問し、国際理解の授業を行いました。６年生全学年 14 名というアットホームな雰囲気の漂う小学校で、児童は留学生から直に聞く外国の話に興味津々でした。授業終了後もなごり惜しそうに児童たちは留学生を取り巻いて話しかけていました。留学生にとっても初めての小学校訪問は貴重な体験となったようです。

留学生の話を興味深く聞く児童たち

パキスタンの装飾品を試してみる児童